

東京湾沿岸（猿島）で見られる生き物

1 猿島

自然環境の特徴

猿島は、東京湾に浮かぶ無人島です。幕末から第2次世界大戦まで、台場や要塞として利用され、終戦まで一般の立ち入りが禁止されていたため、比較的自然環境が残されています。

植物

海崖や岩上で海岸植物が見られます。また、島内部にはタブノキを中心とした自然植生も残されています。

イソギク



イヨカズラ



ガクアジサイ



ハマウド



ツワブキ



昆虫

キジョランを食草とするアサギマダラの生息・繁殖が確認されています。砂浜ではハマベハサミムシや、昆虫ではないがハマダンゴムシ（甲殻類）など海岸性の種が見られます。また、島内では、トンネル内や砲台跡でも様々な昆虫を確認できます。

アサギマダラ



ハマベハサミムシ



ハマダンゴムシ



カマドウマの一種



オオホシカメムシ



ハマヒョウタンゴムシダマシ



水生生物

波浪の影響が比較的少なく、風化しにくい岩礁部では、フジツボ類などの付着生物が多く見られます。潮溜まりでは、目視でアゴハゼなどの魚類なども見ることができます。砂浜は、人の利用が多いため水生生物は比較的少ないです。

アゴハゼ



タテジマイソギンチャク



イワフジツボ



クロフジツボ

